



エンケイ株式会社

×

静岡県立浜松湖南高等学校

フィールドスタディ事例

株式会社マイナビ Locus運営事務局

静岡県立浜松湖南高等学校

フィールドスタディ実施概要

実施日：2023年12月19日 9時～12時

参加生徒数：1年生 約329名

参画企業数：31社

概要



●エンケイ株式会社様について

業種：自動車・輸送用機器

従業員：8,076名

(国内1,318名・海外6,758名)

※2023年12月時点

●フィールドスタディ概要

実施日：2023年12月19日

参加生徒数：12名

実施形式：企業訪問型

参加社員数：3名

キーワード：グローバル・ダイバーシティ
ものづくり

●今回フィールドスタディ受入を決めた理由

・自社の認知度向上と学生との接点

高校生と接点を持つことで、
今の高校生の関心や興味を
より深く知ることのできる機会だと思った。
このフィールドスタディを通して、
高校生が将来の進路選択をする際に
良い影響を与えることができれば嬉しい。

実施スケジュール



自己紹介
10分

本日の目的と
質問整理
20分

会社説明
50分

職場見学
20分

座談会
30分

まとめ感想
20分



実施内容詳細

●自己紹介

…担当者、参加生徒それぞれ自己紹介



趣味や最近あった良いこと・悪いこと、などを一緒に交えながら自己紹介。
会話のキャッチボールをしながら生徒1人1人を深掘り。
共通の趣味が見つかったり、
生徒の緊張も和らいで、距離が縮まった印象◎

●本日の目的整理

…ワークシートを使って目的や質問の整理



最初に学びたいことや、事前に考えてきた質問を生徒に整理してもらうことで、
フィールドスタディの目的を明確にしてからスタート。

●会社説明・職場見学

…事業内容、歴史、オフィス見学など



説明しながらクイズを出したり、生徒へ問いかけ。
全員が話しやすい雰囲気を作ることで、
より一生懸命に考えて意欲的な参加へと繋がった。
ホイールの持ち比べ体験では、生徒が軽さを実感して、
自社製品の理解度UPという工夫も◎

●座談会

…生徒との交流・質問対応など



(生徒の声)
「全員の話に耳を傾けてくれたので、
社員の方が座談会の場を大切にしていることが伝わり、
自分も考えていることをしっかり話すことができた。」

社内見学

参加した生徒のアンケートで
最も好評の項目をご紹介します！



●概要

実際に働いている社員の様子や、オフィスの雰囲気を見学。事業紹介だけでなく、会社全体で取り組んでいるイベントや働き方の工夫など、幅広い内容を紹介。



生徒は実際の現場を見ることで、企業が様々な課題解決に取り組んでいることを実感。事前学習だけでは分からない新たな発見も多く、企業の印象がとても変わったというプラスの意見が多数。



生徒の声「ここが良かった」

- ・車関係の仕事なので、黙々と働いていると思っていましたが、実際社内の雰囲気は明るく、堅苦しい様子ではなかった。
- ・賞状がいくつもあり、SDGs や地域活性に大きく貢献し、周りに認められている会社ということが分かった。
- ・植物や金魚など、オフィスが緑豊かですごく素敵で印象に残った。
- ・アルミホイールを作るだけでなく、地域との関わりやグローバル化も行っていることを知れて、今後の将来や学生生活にとっても役立った。

魅力ポイント

Locus運営事務局
担当者から見た魅力をご紹介します！



●生徒の緊張をほぐす空気作り

- ・入社歴の浅い若手社員が参加
- ・参加高校（浜松湖南高等学校）の卒業生で実際に活躍中の社員を紹介
- ・入社理由、やりがいを伝える etc.

最初に社員から歩み寄って
話を進めていくことで
生徒も心を開きやすい雰囲気◎



若手社員の入社理由は、
生徒にとってより身近に感じられるポイント！
生徒自身での落とし込みもしやすく
「将来の進路選択にとっても役立った」という
生徒の声が多数♪

●企業の声：工夫したこと

生徒に内容がより伝わるよう、
言葉の表現や資料内容などは分かりやすさを意識。

一方的にならないよう生徒に問いかけたり、
発言の機会を作ったり、
全員が体験できる空間作りにも工夫。

●生徒の声：良かったこと

・ESGなど初めて聞く言葉を丁寧に説明してくれて、
環境に対する取り組みや熱意を理解することができた。

・普段何気なく使っているものが多くの人の手を渡って届いていることを知り感動した。今後の進路選択の幅がとても広がった。



株式会社リキシステム
×
静岡県立浜松湖南高等学校

フィールドスタディ事例

株式会社マイナビ Locus運営事務局

静岡県立浜松湖南高等学校

フィールドスタディ実施概要

実施日：2023年12月19日9時～12時

参加生徒数：1年生 約329名

参画企業数：31社

概要



●株式会社リキシシステム様について

業種：ソフトウェア

従業員：24名 ※ 2023年12月時点

●フィールドスタディ概要

実施日：2023年12月19日

参加生徒数：8名

実施形式：企業訪問型

企業スタッフ数：6名

(メイン進行3名+座談会ゲスト2名+外部とのやり取り担当1名)

キーワード：IT・ものづくり

●今回フィールドスタディ受入を決めた理由

・社員の自社理解促進と自社のPR接点

高校生に説明することで、社員にとって自社理解を深める機会になればと思っている。そのため、弊社では毎年、研修の一環として新入社員にフィールドスタディの運営を任せている。

また、少子化も進む中で、就職の対象が段々と大学生から高校生まで広がっている。フィールドスタディは市内の高校生に少しでも自社のことを知ってもらう機会にもなるため、フィールドスタディの受入を決めた。

実施スケジュール



自己紹介
アイスブレイク
30分

企業説明
40分

意見交流会
30分

休憩
10分

座談会
30分

まとめ
10分



実施内容詳細

●自己紹介/アイスブレイク

- …進行担当社員の自己紹介（1分×3名）
- 市販のボードゲームを使用したアイスブレイク（生徒4名+社員1名のグループ×2で実施）

グループに分かれ、
アイスブレイクに取り組む生徒
→



市販のボードゲームを使用し社員の皆さんと生徒で一緒に簡単なゲームを行うことで、距離が縮まり、生徒も緊張が解けた様子◎

●企業紹介

- …業界の説明から、企業の業務内容の説明、社員の会社に対する印象などのアンケート結果まで、幅広く説明。



IT業界は生徒に馴染みがないため、出来るだけ分かりやすく、生徒も理解しやすい身近な例を用いて説明していた。
（システム構築を餅つきに例えて説明など）



社員アンケート結果を公開し、「会社」ではなく「人」に焦点を当てるパートを作ること、生徒たちも自分が将来働くとしたら…というイメージを思い描きながら話を聞いていた◎

アンケート内容：入社理由、学生時代にやっておいてよかったこと、会社の魅力、仕事で不安だったこと など

意見交流会・座談会について



●意見交流会

…企業側がテーマに設定した課題の中から1つ選択し、課題に対する解決策をグループで考える



意見交流会の難易度を下げるため、テーマとなる課題を提示、さらに企業担当者も各グループ1名サポートに入っていた◎



意見交流会で出た意見に対して、アイデアの斬新さ、実現可能性など、必ず褒めていたため、生徒の学習意欲も高まった様子◎

グループワークに取り組む
生徒たちの様子 →



●座談会

…進行担当の若手社員に加え、社長・部長が登場し、生徒からの質問に回答



高校生にとって、企業の役職者に直接お話を聞く機会はないので、真剣な表情でお話を聞いていた◎



生徒の声
「会社を経営している人物に直接質問する経験は、今までなかったので、非常に勉強になった。」

座談会で真剣にお話を聞いている
生徒たちの様子 →



魅力ポイント

Locus運営事務局
担当者から見た魅力をご紹介します！



●若手社員中心の高校生に寄り添ったフィールドスタディ

- ・若手社員3名がフィールドスタディの運営及び進行を担当（新入社員研修として活用）
- ・担当者が生徒と比較的年齢が近いため、
実施内容が生徒の目線に立って考えられていた
※例：アイスブレイクでボードゲームを使用
会社紹介で社員アンケートの結果を取り入れる、など
- ・アイスブレイクやグループワークに社員と生徒が一緒に取り組むことで、
心理的距離が縮まり、
生徒が発言しやすい空気が生まれた
- ・若手社員だけでなく、座談会では社長・部長も登場し、様々な立場の人から話が聞ける機会があった

●企業の声

業界知識のない高校生も理解できるように、イメージのつきやすいたとえ話を用いて説明をすることを意識した。

また、一方的に話を聞いているだけだと高校生も集中しづらいと思うので、質問を定期的に投げかけたり、高校生が興味を持って参加できるような内容を考えたり、上手く巻き込むことを意識した。

スライドの準備やリハーサルなど時間を使って準備をするのは大変だったが、Locusを通じて仕事での接点が少ない社員同士もコミュニケーションを取る機会が生まれ、年の近い人同士がどのような考え方でどのような仕事をしているのかを知ることができたのが企業にとってもプラスになった。